

新型インフルエンザ対策に関する緊急申し入れ

野洲市長 山仲善彰 様

2009年5月20日

日本共産党野洲市議会議員団

団長 小菅六雄

野並享子

太田健一

新型インフルエンザ蔓延における対策について鋭意努力されておりますことに敬意を表します。

神戸市で初の国内感染が発生以来、感染患者は急速な広がりを見せています。20日には県下大津市でも発生し、湖南6市では学校・幼稚園及び保育園や学童保育所が休業されることになりました。野洲市を始めとする滋賀県南部地域は、京都、大阪などへの通勤通学者も多く、今後、更なる広がりも心配されるところです。

現在、政府は、地域社会、経済活動への影響を考慮して、対策の見直しを検討していますが、今後の感染拡大を防止するためには、本市の更なる対策や医療体制を緊急に整備することが求められています。

よって、下記のとおり緊急に対応されますよう申し入れます。

記

1. 市民に対して必要な情報を適確に提供し、不安解消と予防啓発を強化されること。市の相談窓口を増設し、分庁舎等でも対応できるよう相談体制の拡充強化を図られること。
2. 野洲病院の「発熱外来」だけで対応ができない事態も予想される。市内でも協力医院などを確保し診察と簡易検査が出来るよう関係機関に要請されること。
3. 感染患者が発生した場合は、患者・家族をはじめ、関係者のプライバシー、人権に配慮した対応をされること。
4. 今回、20日より26日まで小中学校及び幼稚園、保育園、学童保育所の休校・休園措置がされた。このことにより保護者が仕事を休まざるを得なくなる場合が発生する。そうした理由で休暇を申請した場合には、認めるとともに、決してそのことを理由に、不利益な対応はしないよう、市内企業に指導されること。
5. とりわけ、保育園・学童保育所(子ども教室)、高齢者・障害者通所施設等が休業となれば保護者や家庭の負担は計り知れないものがある。園児・児童や家庭の事情等も考慮し、市が丁寧な相談と対策を講じられること。
6. 感染拡大防止へ、国民健康保険の資格証明書発行世帯には、直ちに短期保険証を届けられること。
7. 感染拡大の防止に向けた体制づくりについて、国に強く支援を求められること。

以 上